

はじめに

みなさん、こんにちは。この講義を担当します高橋勉と申します。全部で12回の講義になりますが、よろしく願いいたします。

さて、経済に関する知識は、大学生、社会人のみなさんにとって、学内の定期試験、就職試験、資格試験など多くの場面で必要とされますし、また、社会人として活躍する際にも不可欠な一般常識の1つになっています。ですので、みなさんの多くは経済に関する勉強の必要性を感じていると思うのですが、いざ勉強しようとする、「うわ〜、むずかしそうだなあ」と立ち止まってしまう人も少なくないと思います。「最も簡単な」とか、「誰にでもわかる」とか、そういうタイトルの本でも、自分の基礎知識に合っていなければむずかしく感じてしまいますし、経済用語や経済ニュースの解説を1つ1つといねいにやってくれている本も、詳しい「辞書」のように使えるのでとても便利なのですが、逆に、経済に関するバラバラな情報が一度にワッとやってくる感じに圧倒されてしまって、読み進めていくのがむずかしかったりします。経済の勉強の必要性を感じているんだけど、中学の頃から「公民」はよくわからなかったし、経済は苦手だなあとと思っている人は、「うーん、入門ってタイトルだけけどむずかしいなあ。じゃあ、こんな自分は何から勉強したらいいんだろう？」と迷っているのではないのでしょうか？

実は、僕がこのようなスタイルで講義をやると思った動機もそこにあるのです。この講義は、そのような人のために、中学「公民」の復習からはじめたいと思います。本当の意味の「入門」講義です。もちろん、それだけで終わってしまってもおもしろくないので、その知識をもとに、現実に目の前で進行している経済をどのようにみるか、ということについてもお話ししようと思っています。つまり、この講義では、中学の頃から「公民」が苦手だった、大学生、社会人のために、そもそも経済とはどういうものなのか、基礎の、基礎の、基礎から、ゆっくりと、そして、1人1人が現在の経済につい

て自分の意見がもてるように、お話ししたいと思います。

したがって、誤解をおそれずにいえば、この講義ではあまり「正確さ」や「厳密さ」にはこだわっていません。というのも、細かいところの「正確さ」や「厳密さ」にこだわりすぎてしまうと、みなさんに肝心なところが伝わらなくなってしまうからです。「公民」が嫌いだった人に理由をたずねると、「むずかしい用語がいっぱいあって、それを暗記するのが嫌になった」という声をよく聞きます。「社会科 = 暗記科目」みたいな感じのところがありますもんね。僕も暗記することが嫌いなので、その気持ちはよくわかります。確かに、経済用語は、日常生活ではあまり使われませんので、その内容を正確に暗記しようとするとてもやっかいです。

しかし、実は、経済を理解する際にまず大切なことは、経済用語という「点」ではなく、経済の「動き」をみることです。すなわち、どのような流れの中で経済が動いているのか、「経済のストーリー」を理解することが大切なのです。そして、この「経済のストーリー」が頭の中にある程度入っていれば、やっかいな経済用語も整理して理解しやすくなると思います。

たとえば、そうですねえ、サッカーのルールをまったく知らない人がいきなり、オフサイドとか、シミュレーションとか、そのようなサッカー用語の解説からはじめられても、それが何のことだかまったく理解できませんよね？ やはり、最初はサッカーの大まかな流れについて、つまり、11人对11人に分かれて、1つのボールを手を使わずに相手ゴールに多く入れることを競うスポーツで、ただし、チームの中で自分のゴールを守る役割の1人だけは手を使ってもよい、みたいなことから説明してもらいますよね？ そして、実際にやってみたり、テレビをみたりして、サッカーの試合の流れがわかってきたら、いろんなサッカー用語も少しずつわかるようになるわけです。

「経済のストーリー」と「経済用語」との関係も同じです。ですから、みなさんも、1つ1つの経済用語を暗記しようとするのではなく、「経済の大まかな流れを頭に入れとこうかな」という軽い気持ちで、この講義に参加してみてください。最終回が終わったときには、きっと、「経済のストーリー」が頭の中に描けるようになっていていると思います。

いずれにしても、この講義は「入門」ですので、この講義で経済について興味をもっていただいて、「もっと知りたいなあ」と楽しい気持ちになっていただけるようにお話をしていきたいと思っています。楽しくさせることができるかどうかは、僕の腕次第ということになりますよね。たいした「腕」はもっていないのですが（ここは、うなずくとこじゃないよ!）、できるだけみなさんに楽しんでいただける講義にするつもりです。では、早速、本題に入っていきます。

